

アドミッションオフィサー養成セミナー
アドミッションオフィサーはなぜ必要とされるのか？
－育成型入試におけるアドミッションオフィサーの役割－
(文部科学省教育関係共同利用拠点事業)

関係各位

九州大学 基幹教育院 次世代型大学教育開発センター

このたび、以下の通り、アドミッションオフィサー養成セミナー「アドミッションオフィサーはなぜ必要とされるのか？－育成型入試におけるアドミッションオフィサーの役割－」を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

【趣旨】

多面的・総合的な評価による入学者選抜では、従来の教科学力だけではない評価指針が求められる。だが、その評価軸や評価手法だけに頼るのではなく、高大接続のために入試をどのように機能させるのかが、今後求められているのではないだろうか。本セミナーでは、多面的・総合的な評価の入学者選抜において、「育成型」をキーワードに展開している大学をお招きし、入学者選抜の目的と内容と測定・評価の設計、さらに実施体制などの事例をご報告いただく。また、今後の高大接続を意識した入試の設計とアドミッションオフィサーの役割について議論する。

【日時】 平成30年6月17日(日) 13:30-16:35

【会場】 九州大学 箱崎キャンパス 文系地区 共通講義棟102教室

<http://www.kyushu-u.ac.jp/f/32760/2018hakozaiki.pdf>

※上記キャンパスマップの文系地区12番です

【参加費】 無料

【対象】

大学教職員・高校教職員の方を対象とします。特にアドミッション（入試）業務従事者、大学入学者選抜業務を担当する学部教員や入試関連委員会委員、入試課でアドミッション（入試）業務に従事されている事務局員の方、今後、アドミッション・スペシャリストを目指す方

【プログラム】

13:30-14:30

1 時間程度 : 基調講演

池田輝政 先生 (追手門学院大学 学長補佐
アサーティブ研究センター センター長
基盤教育機構 教授)

タイトル: 「生き抜く力を接続する大学入試再考」

概要: 共通1次が始まったのが1979年。私はその1年後の1980年に大学入試センターに職を得て1995年まで勤務した。16年間は共通テストにかかわる研究開発を続けた。この機会に、共通テストのテーマから離れた2018年の現在から振り返ってみて、私の心から消えないでずっと残る大切なものは何かを探ってみた。それは「共通1次の理念はいまでも生き続けているのか」である。なぜそこに立ち戻る必要があるのか。その結論が標記のテーマにつながった。

14:30-14:45 : 休憩

14:45-15:25

40分程度 : 事例報告

志村知美 氏 (追手門学院大学 教務部アサーティブ課 課長
アサーティブオフィサー
アサーティブ研究センター研究員)

タイトル: 「一緒に育てます! ~アサーティブプログラム・アサーティブ入試」

概要: 私は、多くの高校生や大学生との出会いを通じ、進学モチベーションの曖昧さ・基礎学力問題など受験生としてのレディネスの適性に着目した。これらの適性を選抜するのではなく、不足している部分を育てる仕組みとして誕生したのが、アサーティブプログラム・アサーティブ入試である。受け入れる大学が、入学を許可する責任を果たすべき姿勢の1つとして導き出した答えである。家庭・高等学校・大学が一緒に高校生を育てていく方法論をご紹介します。

15:25-16:05

40分程度 : 事例報告

一ノ瀬大一 氏 (九州産業大学 教務部 教務第二係長
KSUアドミッションオフィサー責任者)

タイトル: 「KSUアドミッションオフィサーが中退を予防するKSU育成型入試」

概要: 本学では、2014年に中退予防を重点事業に掲げ、2015年から現在に至るまで、中退予防13プロジェクトを実施している。2015年以降、着々と中退率は減少した

が、AO入試入学者の中退率が依然として高い状況であったことから、その対応として高大接続入試の観点におけるKSU育成型入試を2017年に導入した。この特長は、KSUアドミッションオフィサーである職員が大きな役割を担っていることである。この中退予防の施策が、結果として高大接続の取組と呼ばれるようになったプロジェクトの全容を紹介する。

16:05-16:35

30分程度 : フロアとの質疑応答

【参加申込】 <http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~cfde/form/>

ウェブサイト内の上記申込フォーマットにてお申し込みください

【締切】6月13日(水)17:00

(ただし、会場の都合上、受付を締切前に終了する場合がございます。)

【注意】当日は報告書等利用のための写真・動画撮影を行います。予めご承知おき下さい。

【その他】公共の交通機関でお越しいただけますようお願いいたします。

【問い合わせ先】

九州大学 基幹教育院 次世代型大学教育開発センター

TEL:092-802-6070 Mail:kyoten★artsci.kyushu-u.ac.jp(★を@に置き換えて下さい。)

(タイトルに【6/17AOセミナー】と記載して頂けると幸いです。)

*平成28年7月に、九州大学基幹教育院は「教育関係共同利用拠点」として文部科学省から認定され、その実施組織として「次世代型大学教育開発センター」を設置いたしました。教育関係共同利用拠点とは、多様化する社会と学生のニーズに応えつつ質の高い教育を提供していくために、各大学の有する人的・物的資源の共同利用等を推進するものです。

(http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/daigakukan/1375506.htm)

以上